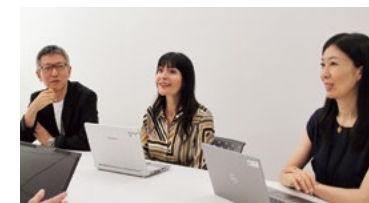


## 成長を支えるコーポレートの取り組み / グリーン戦略

[グリーン戦略\(サステナビリティレポート\)](#)

### ▶ サステナブルな成長を実現するグリーン戦略

日立は、Climate Change Innovatorになることをめざし、2つの柱“GX for CORE”と“GX for GROWTH”からなるグリーン戦略を策定しています。GX for COREとGX for GROWTHを両輪で進めることによって技術やノウハウの深化を加速し、日立が提供する環境価値を継続的に向上させていきます。このグリーン戦略の着実な遂行により、社内のGXを加速し、各セクターのお客さまと社会のGXへの貢献を支えます。



### ▶ GX for CORE

#### 日立グループのグリーントランスフォーメーションの加速

##### グリーン戦略の実行における主要KPI

##### カーボンニュートラル

事象所(ファクトリー、オフィス)(2030年度まで)  
バリューチェーン全体(2050年度まで)

##### エコデザイン

すべての新規開発製品への適用(2024年度まで)

##### 資源循環

製造拠点からの廃棄物埋立率\*1ゼロ\*2(2030年度まで)

\*1 各地域の規制や条件に適合している場合 \*2 0.5%未満

#### 脱炭素

- 製造ラインへの省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの導入・調達などを実施します。これにより、CO<sub>2</sub>排出削減は2024中計目標(50%)を超え、2024年度に64%削減の見通しです(2010年度比)。
- 2022年度からは、調達パートナーに第三者評価プラットフォームEcoVadis\*を導入し、調達パートナーとのさらなるエンゲージメント強化に取り組んでいます。

\* 包括的な企業の社会的責任評価サービスプラットフォーム。環境、労働慣行と人権、倫理、持続可能な資材調達の影響を含む評価を実施

#### 資源循環/自然共生

自然環境への影響を最小化するための活動を進めています。

- 357製品をエコデザイン適用対象として特定(2022年度)。
- 199事業所にて埋立廃棄物ゼロを達成(2022年度時点)。

#### 日立レール工場での太陽光発電の活用(ティト・スカロ工場、イタリア)

工場で利用する総エネルギーの50~60%を占める年間700MWh以上を、敷地内の太陽光パネルにて発電しています。これにより年間325トンのCO<sub>2</sub>排出量を削減できました。



### ▶ GX for GROWTH

#### お客さまと社会のグリーントランスフォーメーションへの貢献

##### グリーン戦略の実行における主要KPI

##### CO<sub>2</sub>排出削減貢献量

年間**1億**トン(2024年度)

#### 脱炭素

- エネルギー転換、電化・自動化、デジタルの活用により、お客さまと社会のCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献します。現時点では、2022~2024年度(中計期間)の3年平均で1億2,610万トン/年に達する見通しです。

#### 資源循環

- 空気圧縮機のリマニュファクチャリングや再生プラスチックを適用した掃除機などの代表例とともに、直近ではセブン-イレブン・ジャパンとの実証実験に参画し、中古EVバッテリーの活用を検証しています。

#### [セブン-イレブン・ジャパンとの環境負荷低減店舗の実証実験\(三郷彦成2丁目店\)](#)

店舗に設置した太陽光パネルによる発電を有効活用するために、中古EVバッテリーを利用した可動式蓄電池(バッテリーキューブ)を開発しました。店舗内に導入する省エネルギー設備や空調設備と組み合わせたエネルギーマネジメントにより、2013年度比で購入電力量約60%低減、CO<sub>2</sub>排出量約70%低減の見込みです。

